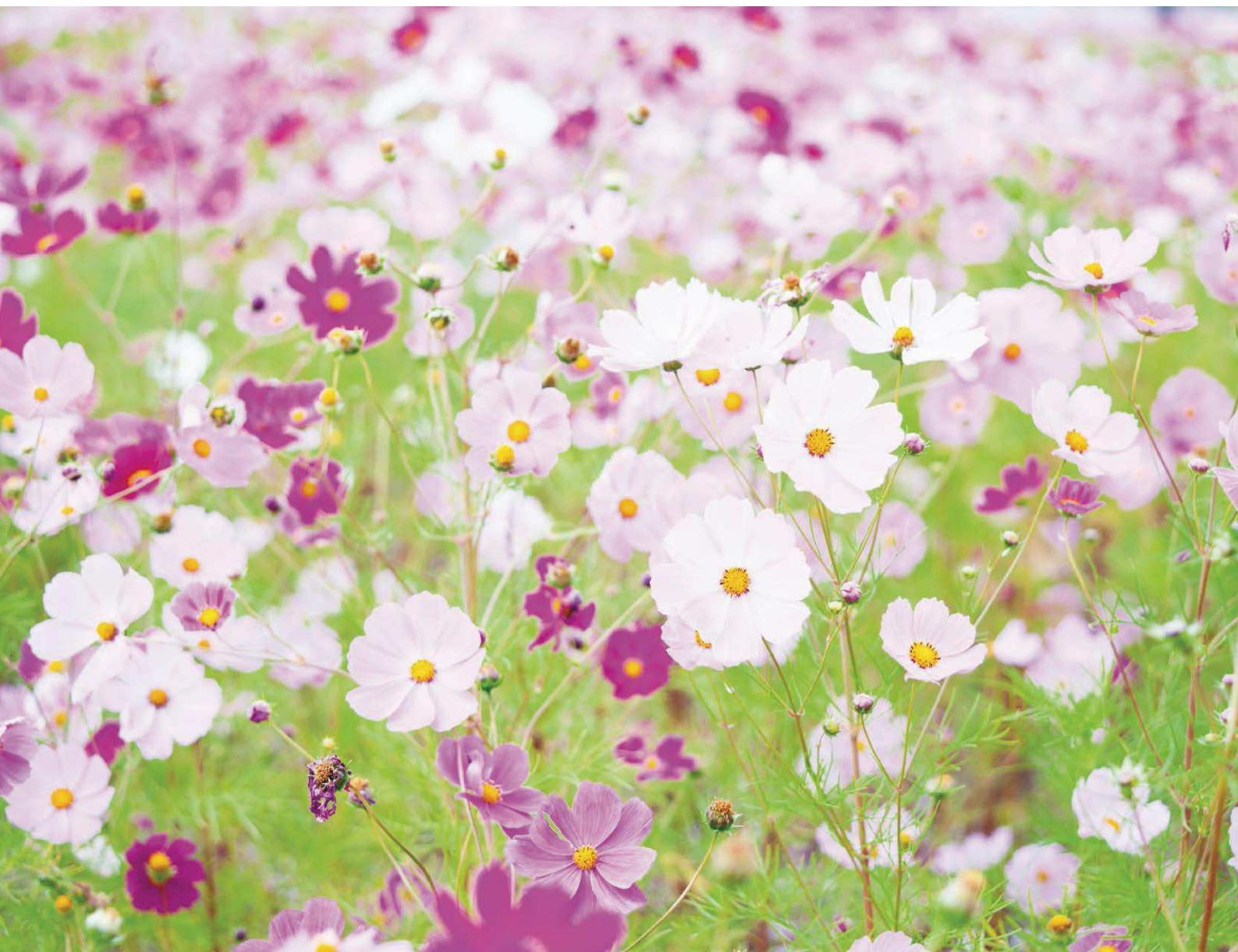


# かけはし



2015年

Vol.77



## CONTENTS

- 診療科紹介 耳鼻咽喉科
- リレーコラム
- 看護のチカラ 痛みの治療に使われる薬のはなし
- 看護のチカラ これから季節マダニ咬傷にご用心!
- 自宅で行える簡単トレーニング
- 医療体験セミナー
- 看護師フォローアップ研修会
- 病院祭のお知らせ

# 耳鼻咽喉科



主任部長代理  
石井 秀将

耳鼻咽喉科では今春医師2名の異動がありました。まず、平成14年より13年間勤務された主任部長の森直樹先生が平成27年3月末に異動され、つづいて平成22年より5年間勤務された長陽子先生が平成27年5月末に異動されました。代わりに石井秀将と片桐佳明が着任し、新しい体制がスタートしたばかりです。

これまで以上に積極的に外来・入院患者さんの診療と手術に取り組んでいきたいと考えていますので、宜しくお願ひ致します。

## <耳 科>

難治性滲出性中耳炎には鼓膜チューブ留置術を行います。慢性中耳炎・鼓膜穿孔に対しては接着法による鼓膜形成術を短期入院で行っています。内耳性めまい（良性発作性頭位めまい症やメニエール病など）、突発性難聴、顔面神経麻痺（ベル麻痺など）に対する検査・治療も行っています。乳幼児の聴覚評価などには聴性脳幹反応検査（ABR）を行っています。

## <咽喉科>

慢性扁桃炎や扁桃肥大、アデノイド増殖症に対して口蓋扁桃摘出術・アデノイド切除術を多く行っています。咽喉頭内視鏡にもNBI（狭帯域光観察）が導入されており、表在性微小病変の早期発見が可能です。嚥下障害患者に対しては、言語聴覚士とともに嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査を行っています。また気管切開術の実施と術後の気道管理も行っています。

## <鼻 科>

重症のアレルギー性鼻炎に対してアルゴンプラズマ凝固装置を用いた下鼻甲介粘膜焼灼術を行っています。鼻中隔弯曲症などの鼻腔形態異常による高度鼻閉に対しては、鼻中隔矯正術や粘膜下下鼻甲介骨切除術も行います。薬物療法で改善しない難治性慢性副鼻腔炎・鼻ポリープに対してはマイクロデブリッダーを用いた内視鏡下副鼻腔手術を行っています。

## <頭頸部外科>

頭頸部腫瘍の診断と治療も行っています。まず超音波画像診断装置（エコー）による観察を行い、これに穿刺吸引細胞診、生検、CT、MRI撮影などを加えて迅速に診断を行います。頭頸部悪性腫瘍（口腔癌、咽頭癌、喉頭癌、鼻副鼻腔癌、唾液腺癌）に対しては「頭頸部癌診療ガイドライン」「口腔癌診療ガイドライン」「NCCN guideline」などにもとづいて手術・放射線治療・化学療法を組み合わせた集学的治療を行います。



前列、左から ▶ 宝利（看護師）、石井（医師）、田頭（看護師）  
後列、左から ▶ 片桐（医師）、高原（医師）、竹本（事務）

在院患者数は常時15名前後で、平成27年4月～7月の新入院患者数は延べ163名でした。頭頸部悪性腫瘍の患者さんも多く、放射線科との合同カンファレンスを定期的に行って治療方針を検討しています。

手術は毎週火曜日と木曜日の午前・午後に行ってます。手術までの待機期間は比較的短く、夏休み期間等を除けば概ね1ヶ月以内に手術が実施できます。

扁桃摘出術・アデノイド切除術、内視鏡下鼻副鼻腔手術、喉頭微細手術（ラリンゴマイクロサージェリー）などの一般的な耳鼻咽喉科手術はもちろん、唾液腺腫瘍手術、頸部郭清術、口腔／咽喉頭悪性腫瘍手術なども行っています。今年度に入ってからの手術件数と術式は下記のとおりで、昨年度と比較して件数が増加しています。

### ＜平成27年4月～7月 手術件数：112件＞

鼓膜チューブ挿入術	3件	中咽頭腫瘍摘出術	1件	唾液腺手術	5件
先天性耳瘻管摘出術	1件	ラリンゴマイクロサージェリー	15件	甲状腺手術	2件
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	39件	喉頭全摘術	1件	頸囊摘出術	2件
鼻中隔矯正術	12件	気管切開術	2件	深頸部膿瘍切開術	1件
口蓋扁桃摘出術	36件	気管孔閉鎖術	1件	頸部リンパ節摘出術	1件
アデノイド切除術	21件	頸部郭清術	6件		

臨床研究検査科長  
細谷 勝己



「検査データって、どこの病院も一緒なの？」って聞かれることがあります。

臨床検査の中で血液中の成分分析をする検査項目はいろいろありますが、検査室では多くのメーカーの中から試薬と分析装置を選び、組み合わせて使用して結果を報告しています。

そのため、同じ検査項目でも病院によっては測定方法の違いによるデータの施設間差が生じ、医師が結果を判断する目安になる基準範囲（正常範囲）が病院によって少し異なってきます。紹介などで患者さんが病院を変わり、過去のデータと比較できない場合には、受診した病院で最初から検査を実施することになります。

そのような無駄ができるだけ少なくなるために、2006年度から検査情報の共有化を目的とした臨床検査データ標準化事業がスタートしました。

これは、各メーカーにJCCLS（日本臨床検査標準協議会）が選定した標準物質を元に、各分析装置で測定したデータが同じになるような検査試薬（標準化対応試薬）の作成を求めるもので、現在ではその試薬を使うことが一般的になっています。

これにより、生化学の検査データの施設間差は少なくなつておらず、基準範囲も検査データの統一化により全国共通の設定ができる環境が整つてきました。近い将来、基準範囲も全国共通になるものと思われます。

ただし、これは生化学項目だけの話であり、AFPやCEAといった腫瘍マーカーには標準物質が無いため、測定機器によって数値が違うので注意が必要です。

当検査室では患者さんの検査データが常に正しく報告できるよう機器の設備、精度管理を強化しており、日本臨床衛生検査技師会及びJCCLSより精度保証施設として認定を受けています。

今後も正確、安全な検査データとなるよう努力していくので、よろしくお願いします。

連載企画

# がん性疼痛看護認定看護師

## 痛みの治療に使われる薬のはなし



がん性疼痛看護  
認定看護師  
**小田原 めぐみ**

患者さんにとって「痛み」は深刻な問題です。しかし、これらの痛みは適切に鎮痛剤を使用することで80～90%の患者さんで痛みが取れるという報告があります。今回は鎮痛剤をテーマにお話をしたいと思います。

鎮痛剤は薬の作用や効果によって様々な種類のものがあります。これらの鎮痛剤は慢性的な痛み、がんの痛みなど様々な痛みの治療に使用されます。

第三段階に用いられる薬は「医療用麻薬」と呼ばれています。

### <鎮痛剤の種類と作用について>

	鎮痛剤の名前	主な作用	投与量
第一段階 軽度の痛み	ボルタレン® ロキソプロフェン® セレコツクス®	炎症を抑えることによって、痛みや発熱などの症状を和らげます。	一日に飲んで良い量が決まっています。
	カロナール®	炎症を抑える作用はありませんが、痛みや発熱などの症状を和らげます。	一日に飲んで良い量が決まっています。
第二段階 中等度の痛み	トラマール® トラムセット®	痛みを伝える神経に作用することで痛みを和らげます。	一日に飲んで良い量が決まっています。
	ピーガード® オキシコンチン® フェントステープ® タベンタドール®	痛みを伝える神経に作用することで痛みを和らげます。	痛みが楽になる量を医師の指示のもと調整する薬のため、患者さん一人一人投与される量が異なります。
第三段階 強度の痛み			

「麻薬」と聞くと「中毒になる」、「最後の薬」といったイメージがあるかもしれません、医療用麻薬は安全性を国が承認した薬であり、安心して使用できる鎮痛剤です。

風邪などで咳が止まらない時に処方されるリン酸コデインという薬は、少量の医療用麻薬で作られた薬で一般的に使用されている薬です。また、手術の後の鎮痛剤としても使用されています。「一度使うとやめられなくなる」ということはなく、痛みがなくなればやめられる、安心して使える薬です。

しかし、医療用麻薬は強い痛みの治療に用いる薬であり、患者さん以外（家族や知り合い）が使用すると強い副作用が出現しますので、他の人にあげたりしないでください。また、眠気が出現する薬です。車の運転は危険ですので、やめましょう。

### <医療用麻薬と不正麻薬・覚せい剤の違い>

医療用麻薬	不正麻薬・覚せい剤
有効性・安全が確認され、国が承認した薬です。	法律で禁止されている薬物です。
医師が必要な方に処方する薬で正しく使用されるため中毒になることはありません。	使用を続けると中毒になる薬物です。
代表的な薬はモルヒネなどの鎮痛剤、コデインなどの咳止めです。	代表的な不正薬物はヘロイン・MDMA・覚せい剤・大麻などがあります。

#### がん性疼痛看護認定看護師とは！？

痛みのケアを専門とする看護師です。  
具体的には…

- ① 日常生活を痛みなく過ごせるように支援する
- ② 患者さんの痛みに合うお薬を医師や薬剤師と検討して調整する
- ③ 痛み止めによる副作用のコントロールをする
- ④ 痛みによって生じる不安のケアをする
- ⑤ 患者さんの辛い思いを医師に伝え、対応してもらえるように調整する

## 看護のチカラ

# 感染管理認定看護師

これからの季節、マダニ咬傷にご用心！



感染管理認定看護師  
棒田 静香



◀マダニ

広島は海・山に囲まれた風光明媚な県ですが、この美しい山にSFTS（重症熱性血小板減少症候群）や日本紅班熱、つつが虫病の原因になるマダニが生息しています。

好発時期は4月中旬～11月下旬。行楽シーズン真っ只中のこの時期が、要注意なのです！特に、尾三地域は広島県内でも好発地域のため、注意が必要です。

登山やレジャーなどで山を散策する際、肌を露出させない服装を心がけてください。また、感染の多くは里山を背後に抱えた集落近辺での農作業中や自宅付近での作業中、散策中などに起こっています。

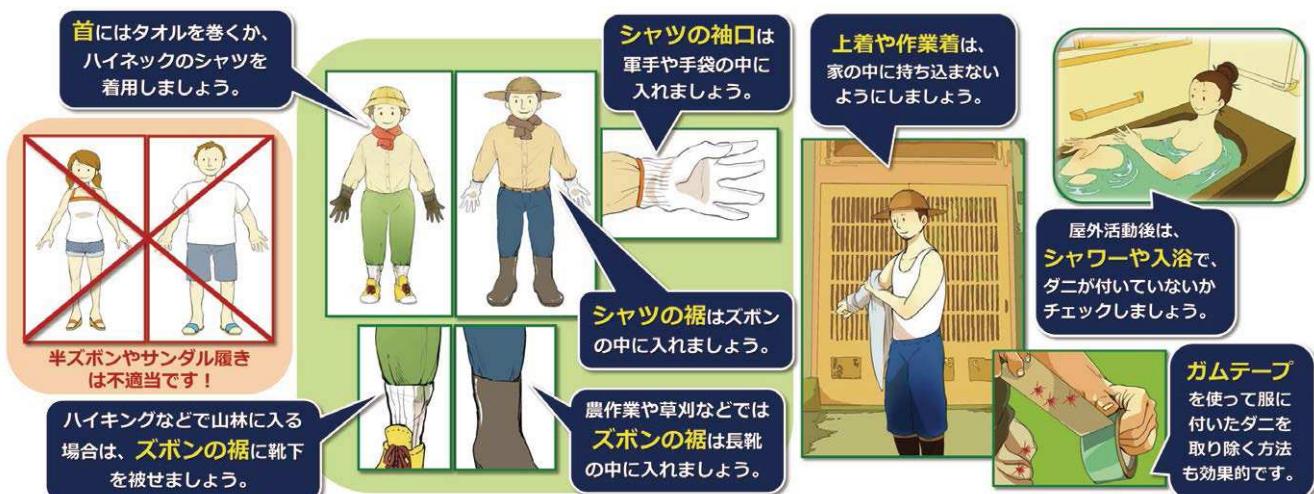
## 〈症状〉

ウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染し、マダニ咬傷後6日～2週間程度経過して、原因不明の発熱、消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）が出現します。

時に頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれん、昏睡）、リンパ節腫脹、呼吸器症状（咳など）、出血症状（紫斑、下血）を起こします。

## マダニから身を守るには！

マダニに咬まれないようにすることが重要です！農作業、レジャー、庭仕事など野外で活動する際には次の点に注意してください。



吸血中のマダニを見つけた場合は、医療機関を受診してください。（体部をつまんで引っ張ると口器がちぎれて皮内に残ってしまうことがあります。）

# 自宅で行える簡単トレーニングの紹介



リハビリテーション科  
理学療法士  
**高田 秀樹**

普段の生活や仕事の場面で座って過ごすことは多いと思います。このときの姿勢は当然のことですが、股関節や腰を曲げたもので、肩周りも丸まっていることが多いと思います。



こういった姿勢に限らず、ある一定の姿勢だけを取り続けること（時間的にも日数的にも）は腰痛や肩こりの原因ともなります。

そうかといって、座らない時間を増やすことも難しいものです。

そこで今回はこの問題を解決していただけるように、普段の生活に取り入れていくことができる簡単なストレッチを紹介したいと思います。

## ストレッチ ①

柱や壁に手や肘を置き、肩から胸の前側をストレッチしていきます。

このとき、肘の高さが肩と同じか少し高いくらいになるとより効果的です。



## ストレッチ ②

寝た姿勢から万歳をするようにし、身体全体、特に股関節やお腹周りを伸ばしていくようにします。このとき、腰を反らすなどして無理に伸ばそうとすると腰を痛める可能性があるので注意してください。



**簡単な方法ですので、是非実践してみてはどうでしょうか。**

☆痛みを感じるほどのストレッチは逆効果です。「伸びている感じ」があれば十分です。

☆最低でも20秒以上は「伸びている感じ」の姿勢をキープしてゆっくりとストレッチしていきましょう。

☆肩や腰の動きに不安のある方は無理に行わないようにしてください。

## 高校生医療体験セミナー

この度高校生を対象として医療体験セミナーを開催しました。このセミナーは医療体験を通じて将来の医師確保を目的とするもので、4回目となる今回は4つの高校から総勢17名の方にご参加いただきました。

内容は内視鏡体験や縫合や結紉といった手術体験、救急車の試乗、最後に女性医師による講演というもので、参加した高校生たちは皆一様に真剣な眼差しでセミナーに臨んでいました。

参加者からの感想として、「医師を目指したくなった」や「医師という仕事が身近に感じられた」などの意見を聞く事ができ、有意義なセミナーにできたのではないかと嬉しく思っています。

今回のセミナーを通じて、参加した高校生をはじめ、地元の子どもたちに「将来医療に携わり、地元の役に立ちたい」と思ってもらう取り組みを行なうことも大切な地域貢献の一環であることを強く感じることができました。



このセミナーをきっかけに  
医師をはじめ医療職を目指したいという方が一人でも増えれば幸いです。



## 看護師フォローアップ研修会

卒後2年目の看護師を対象にフォローアップ研修会を行いました。今回の研修の目的は、自己の看護について振り返ることです。患者さんと関わっていくなかで「頑張ったこと」、「感動したこと」、「困ったこと」の3つのテーマについてグループごとに話し合い、模造紙1枚にまとめて発表をしました。



感動したことでは、患者さんから勇気をいただいたという話や、先輩看護師からのアドバイスが心に残ったといった話がありました。

普段は違う職場で働く同期と久々に話し合い、同じような悩みをかかえていることを知って安心したり、相手の成長を感じることで刺激になりました。

これからも日々成長できるよう頑張っていきます。

第4回

# 笑in祭

## Link -リンク-

あなたの健康...わたしの笑顔

みんなでつなげる尾道のWA!

JA尾道市特設ブース

JA尾道総合病院

時間 9:30~15:30

場所 JA 尾道総合病院

【問合せ先】JA 尾道総合病院 病院祭事務局 〒722-8508 広島県尾道市平原一丁目 10-23  
TEL : 0848-22-8111 (代表) FAX : 0848-23-3214 (代表) <http://www.ja-onomichi-hospital.jp/>